

→ ロードマップ全体の見直し

- ・社会情勢の変化、ICAO等国際的な場での検討の推移等を踏まえ、ロードマップ全体の見直し（追加、削除、変更）を実施。
- ・CARATSは2025年までの計画であるが、ロードマップの見直しにあたっては2025年以降も見据えた長期的な視点にたって実施。

→ 導入の意思決定を行った施策のフォローアップの概括

- ・CARATSの取組について、意思決定から導入まで継続的なモニタリングを図る観点から、既に準備段階に終わっている施策全般について、導入状況・効果等についてフォローアップを実施。

→ 指標に係るデータの評価分析

- ・CARATSの指標に基づき、これまで5年間データ収集を行ってきたところ。
- ・社会情勢の変化等により状況が悪化しているものも見受けられるため、現状分析を実施し、課題を改めて明確にすることにより、今後の施策の検討・導入準備に資する。

→ 5年目を節目とし、CARATSの取りまとめ文書の作成

- ・CARATS策定時に、コンセプト・目標等については、一度冊子を作成している。
- ・5年目を節目とし、これまでCARATSで取り組んできた施策を中心に、対外的にわかりやすい冊子を取りまとめ、CARATSの取組への理解の醸成、CARATSの取組への協力関係の構築に役立てる。

平成 27 年度（2015 年度）の主要な取組について（案）

平成 27 年度（2015 年度）の意思決定年次施策は 8 項目（別紙参照）である。これらの項目について、より詳細な議論や費用対効果分析を行い、着実な意思決定を目指す。また、2014 年度までに意思決定を行った項目について、導入に向けた準備を進めていく。

このような個々の施策に係る検討を従前のおりししっかりと実施するのに加え、2015 年度は 5 か年目という節目であることを機に、以下の主要な取組を行うこととする。

主要な取組①：ロードマップ全体の見直し

CARATS の活動において 2015 年度は実施フェーズの 5 年目であり、これまで毎年度、活発な検討・議論により、当初策定した施策の多くについて意思決定を行い、導入に向けた準備段階へと移行した。また、この 5 年間の社会情勢の変化も大きく、ICAO における世界航空交通計画の改訂、東京オリンピックの開催の決定等、航空交通分野に影響の大きい変化があった。さらに、ICAO など国際的な場において、国際標準・勧告の検討など、導入に向けて新しく検討が進んだ施策がある。

これまでも意思決定年次項目を中心に、検討すべき施策・時期の見直しを行ってきたところであるが、5 年目という節目をとらえ、改めて全ての施策について、こうした変化を踏まえた見直しを行うこととする。見直しを行うにあたっては、必要に応じて、CARATS のロードマップの目標年次である 2025 年度以降も見据え、長期的な視点にたったうえで今後 10 年間の検討項目の見直しを行うことが重要である。また、既存の施策の項立てにとらわれず、新規追加・変更も含めた見直しを行うことも重要である。

主要な取組②：導入の意思決定を行った施策のフォローアップの概括

CARATS における検討を踏まえ、これまでに多数の施策について導入の意思決定を行ってきたところ。その多くは、ここ最近に意思決定を行ったところであり、導入までには今後数年、航空局、運航者ともに施設等の整備、人員の訓練等が必要である。一方で、CARATS 開始段階で導入の意思決定を行った施策等、いくつかの施策については準備段階を終了し、既に導入の時期に入っているものもある。

これまでも、いくつかの施策をピックアップし、導入状況をフォローアップしてきたところであるが、CARATS として意思決定の段階から導入まで施策を継続してモニタリングできるよう、こうした施策全般について、導入状況、その効果等についてフォローアップを実施する。

主要な取組③：指標に係るデータの評価分析

CARATS では、6 つの目標に対して指標を定め、数値目標の達成度を継続的に監視するとともに、今後、航空交通システムを変革する様々な施策によって提供するサービスがどのような効果をもたらすかを評価していくこととしている。そして、これまで指標に基づきデータの収集を行ってきたところであり、5 年分のデータを収集してきた。

現段階では、CARATS の施策の多くは準備段階であり、導入されていないため、CARATS 施策の効果そのものをデータから分析することは難しい。一方、社会情勢の変化により、収集されたデータから指標の悪化等が見受けられるものがある。今後、CARATS 施策を目標に向けて効果の高い施策として導入していくため、現状分析等を行い、分析の結果として抽出された問題に対応する形で導入を目指すことが重要である。

そのため、これまで収集してきたデータについて、航空交通サービスの状況の変化、悪化しているものについてはその原因等について評価分析を行い、課題を改めて明確にし、今後の CARATS 施策の検討・導入に役立てる。

主要な取組④：5年目を節目とし、CARATS の取りまとめ文書の作成

CARATS を策定した際に、CARATS の冊子（日本語・英語）を作成し、対外的に我が国の交通管制システムの高度化の取組について、そのコンセプト、目標、方向性等について広く周知・広報を行ったところである。その後も、国内の学会やシンポジウム、国際的な会議等の場を通じて、適宜 CARATS の取組について発表等を行ってきたところであるが、CARATS 策定以降の実施フェーズとして、具体的な施策内容や検討の進捗等に係るわかりやすい冊子が無かったため、毎年度の推進協議会の報告から、その都度内容をピックアップして行ってきたところ。

5年目を迎えることを踏まえ、これまでの CARATS の取組について、実際に導入された施策・意思決定をした施策を中心に、対外的にわかりやすい冊子を取りまとめることとする。なお、必要に応じて英訳をして国際的にも活用できるよう、構成等に配慮する。

平成 27 年度（2015 年度）に意思決定を行う予定の施策一覧

- 0I-13 継続的な上昇・降下の実現
- Continuous Climb Operations
- 0I-20 軌道情報を用いたコンフリクト検出
- 0I-21 データリンクによる空地の軌道共有
- Flight Plan Consistency
- 0I-29-1 定型通信の自動化による処理能力の向上
- Departure Clearance（修正機能）
- Data link Taxi Clearance (FANS-1/A+(POA/M2))
- 0I-29-3 定型通信の自動化による処理能力の向上
- Data link Automatic Terminal Information Service
- EN-1 情報処理システムの高度化
- コンフリクト検出
- 航空機動態情報を活用した管制支援機能
- EN-2 データベース等情報基盤の構築
- 4D 気象データベース
- EN-7 全飛行フェーズでの衛星航法サービスの提供
- RAIM 予測最適化、GNSS 性能監視

（WG 毎の施策の割り振り）

ATM 検討 WG	0I-13、20、21、29-1、29-3、EN-1
PBN 検討 WG	EN-7
情報管理検討 WG	EN-2
航空気象検討 WG	無し